

令和元年 12 月 12 日

「スポーツ文化ツーリズムアワード 2019」受賞団体の決定及び 「第 4 回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」の開催 ～スポーツ文化ツーリズムの普及、拡大に向けて～

スポーツ庁、文化庁及び観光庁は、スポーツや文化芸術資源の融合により、新たに生まれる地域の魅力を国内外に発信し、訪日外国人旅行者の増加や国内観光の活性化を図るための政策連携の取組として「スポーツ文化ツーリズム」を推進しています。

スポーツ文化ツーリズムの優れた取組を評価し普及を図るべく、この度、昨年に引き続き「スポーツ文化ツーリズムアワード2019」の公募を実施し、計6件の受賞団体を決定しました。

併せて、受賞団体は「第4回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」（令和2年1月15日に石川県金沢市で開催）において表彰予定であり、本シンポジウムの詳細も決定しました。（同時発表：観光庁）

【スポーツ文化ツーリズムアワード2019 受賞団体】※詳細は別添1参照

〈スポーツ文化ツーリズム賞 2件〉

○日光トレイルランニング実行委員会 『日光国立公園マウンテンランニング大会』

○剣道体験ツアーSAMURAI TRIP（運営：株式会社パークフォーアス）

『剣道体験ツアー 【SAMURAI TRIP】』

〈スポーツツーリズム賞 2件〉

○小出雪まつり実行委員会 『魚沼国際雪合戦大会』

○白山ジオトレイル実行委員会 『白山ジオトレイル』

〈文化ツーリズム賞 2件〉

○「忍びの里 伊賀」創生プロジェクト会議

『忍びの里「伊賀」ならではの本物の忍びの「心技体」を体現できる体験プログラムづくり』

○一般社団法人ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構

『「めぐる、たべる、つかる」ONSEN・ガストロノミーツーリズムで地域を元気に！』

（次頁へ続く）

【第4回スポーツ文化ツーリズムシンポジウムについて】 ※詳細は別添2参照

- ◆ 日時：令和2年1月15日（水）13時00分～17時30分（開場：11時00分）※取材はフルオープン
- ◆ 場所：金沢市文化ホール（石川県金沢市高岡町15-1）
- ◆ プログラム：別添2のとおり

（三庁長官によるトークセッション及びアワード各賞の表彰のほか、(株)Voyagin 宮崎 有生氏，
(株)美ら地球 山田 拓氏によるテーマ講演，学生向けワークショップを開催予定）

- ◆ 一般申込み：次のURLよりお申し込みください。

<http://sporttourism.or.jp/sport-culture-tourism.html>

<担当>

スポーツ庁 参事官（地域振興担当）付

専門官 田口 雅紀（内線 3929）

地域振興係 多々良 祐明（内線 3931）

文化庁 文化経済・国際課

課長補佐 林 保 太（内線 4847）

連携推進係 尋木 なつみ（内線 4855）

電話：03 - 5253 - 4111（代表）

スポーツ文化ツーリズムアワード2019 【スポーツ文化ツーリズム賞】入賞

(申請団体)

日光トレイルランニング実行委員会



日光国立公園マウンテンランニング大会



取組概要

2015年の台風18号の被害を受けた日光・鬼怒川に元気を取り戻したいと願う地元の若者によって立ち上げたトレイルランニングの大会。

行政からの支援を受けず、国やスポーツ関連団体からの補助金にも頼らない完全自主運営で実施。

大会の一番の魅力は「世界遺産や国立公園内を走れる」ことであり、世界に誇る日光の二社一寺を大会会場に、日光の大自然に触れながら駆け抜けるコースはトレイルランニング業界でも注目を集めている。

評価ポイント

- 日光の世界遺産や国立公園内を駆け抜け、歴史文化と大自然の両方を満喫できる稀有なスポーツイベント。
- 文化資源と大自然の組合せはインバウンドの訴求力も高く、全国のモデルとなり得る。また、エコツーリズムとしても期待。
- 集客力も高く、開催による経済効果も大きく、地域活性化に大きく貢献。

スポーツ文化ツーリズムアワード2019 【スポーツ文化ツーリズム賞】入賞

(申請団体)

剣道体験ツアー SAMURAI TRIP(運営:株式会社パークフォーアス)



剣道体験ツアー【SAMURAI TRIP】



取組概要

外国人旅行客を中心に、剣道体験ツアーを催行。

ツアーには「剣道体験」を中心に3アクティビティ（1. 剣道体験、2. 剣道具製作工房の見学、3. 剣道レストランでの和食体験）を用意し、剣道の紹介だけではなく、歴史や文化、さらには伝統ある剣道具の魅力を伝える。

剣道体験では、剣道歴20年以上の講師陣が基本から丁寧に指導している。



評価ポイント

- 日本の伝統文化である剣道を切り口に、訪日外国人との交流を促進。
- 道具の製作工房見学や和食体験など、伝統文化も含めたプログラム。
- 全国展開できる事業性に期待。

スポーツ文化ツーリズムアワード2019 【スポーツツーリズム賞】入賞

(申請団体)

小出雪まつり実行委員会



魚沼国際雪合戦大会



取組概要

小出商工会青年部が主体となって企画し、小出雪まつり実行委員会や市民の協力を得て、地域の活性化を目指し「雪合戦発祥の地」を掲げ、これまで31回開催。

チームの大将は、豪雪地域特有の道具「かんじき」を履き、「山笠」を被り、「こしき」を持つのが特徴。

魚沼産コシヒカリや地元の温泉宿泊券など魚沼ならではの景品を用意し、会場内では、特産品の魚沼産コシヒカリを無料で食べられるコーナーや、名物の「生もつ焼き」や「けんちん汁」などを振る舞い、地域一体となってイベントを盛り上げている。

評価ポイント

- 雪を地域の文化資源として活用し、温かみのある地域のもてなしを行っている。
- 雪に親しむことを入り口に、スキーなどの他のスポーツに繋がることを期待。
- ルールが分かりやすく理屈抜きで楽しめ、インバウンド訴求力が高い。



スポーツ文化ツーリズムアワード2019 【スポーツツーリズム賞】入賞

(申請団体)

白山ジオトレイル実行委員会

白山ジオトレイル



取組概要

全ての食料を背負い7日間で約250kmを走破するステージ制アドベンチャーマラソンイベント。

平成26年より実施し、本年で6回目。

健康増進と地域活性化を目的とし、白山比咩神社をスタートし、白山七社などの神社仏閣と白山手取川ジオパークのジオサイトの観光名所を巡り、加賀禅定道などの修験道で霊峰白山へ登拝し、白山比咩神社へ戻るコース。

表彰パーティーで白山麓の熊や猪などのジビエ料理や郷土料理を振る舞う。

評価ポイント

- 単なるスポーツではなく、文化・自然を含めた精神性の高い取組。
- 白山の信仰文化や伝統芸能を組み合わせたユニークなプログラム構成。
- アドベンチャーツーリズムの観点で難易度の高いコースであるが、世界的な大会となる高いポテンシャルがある。

スポーツ文化ツーリズムアワード2019 【文化ツーリズム賞】入賞

(申請団体)

「忍びの里 伊賀」創生プロジェクト会議

忍びの里「伊賀」ならではの本物の忍びの 「心技体」を体現できる体験プログラムづくり



取組概要

伊賀の山里を駆け抜ける忍者の本物体験（忍者トレイルランニング事業）と伊賀の山里で暮らす忍者の本物体験（滞在型プログラム事業）による「忍びの正心である“心技体”を鍛える」をテーマとした体験プログラムを展開。

体験プログラムでは、農泊に田植え、稲刈りをはじめ、かかし看板づくり、しめ縄づくりが体験でき、伊賀焼の窯元散策、間伐作業の里山整備と木工教室などの農業体験・文化体験に忍者修行の要素を加え、「伊賀忍道」という伊賀オリジナルの宿泊体験プログラムとして提供している。

評価ポイント

- 日本遺産を中心エリアに、伊賀の伝統歴史を十分に組み込んだプログラム。
- 外国人の関心の高い、世界に通じるコンテンツとして期待。
- ヨガや忍道等を実践する「伊賀忍道」など、今後のさらなる展開が見込まれる。

スポーツ文化ツーリズムアワード2019 【文化ツーリズム賞】入賞

(申請団体)

一般社団法人ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構



「めぐる、たべる、つかる」
ONSEN・ガストロノミーツーリズムで地域を元気に！



取組概要

日本が誇る観光資源、温泉とその土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史等によって育まれた食を組み合わせた「ONSEN・ガストロノミーツーリズム」、その実践としてウォーキングイベントを全国各地で開催。

温泉地に設定されたコース上の自然や歴史・文化、街並みを自分のペースで巡り、ポイント毎にその地域の食事やお酒を主に1品ずつ食べ、ゴール後に温泉に浸ることができる。

「めぐる、たべる、つかる」をテーマに温泉地の魅力向上と地域活性化を目指す取り組みとして、平成26年より実施。



評価ポイント

- 温泉の楽しみ方にウォーキングを掛け合わせ、地域の文化資源の魅力を発信。
- 今後、常時参加可能なコース設定がなされ、一層の発展が見込まれる。
- 地域の文化資源を一度に巡る体験として、他地域への横展開に期待。



第4回

スポーツ文化ツーリズム シンポジウム

スポーツ文化ツーリズムアワード2019 表彰式

日時：2020年1月15日(水)13:00～(開場：11:00)

会場：金沢市文化ホール(石川県金沢市高岡町15-1)

定員：800名(入場料無料、申込み先着)

※お申込み詳細は、裏面をご確認ください。 ※シンポジウムのスケジュール・登壇者は変更となる場合がございます。

表彰式・トークセッション

「スポーツ文化ツーリズムアワード2019」表彰式を開催します。
3庁の長官が一堂に会し、トークセッションも行います。

「スポーツ文化ツーリズムアワード2019」は、各地のスポーツや文化
芸術の融合により、新たに生まれる地域の魅力を国内外に発信し、訪
日外国人旅行者の増加や国内観光の活性化を図る、優れた取組を表彰
します。

表彰式の前には、シンポジウム初の地方開催となる金沢で、3庁の長
官のトークセッションを行います。「3庁連携による、新しいスポーツ
ツーリズムの未来」や「国内外の事例」、「武道ツーリズム」などについ
て、熱く語り合います。



スポーツ庁長官 鈴木 大地



文化庁長官 宮田 亮平



観光庁長官 田端 浩

基調講演・テーマ講演

スポーツ文化ツーリズム×インバウンド×地域活性化に向けて
3名の有識者による、基調講演・テーマ講演を行います。

【基調講演】3庁連携による、新しいスポーツツーリズムの未来 —— 原田 宗彦 氏

【テーマ講演】

スポーツ×文化コンテンツを使った、インバウンド誘客のポイント —— 宮崎 有生 氏

【テーマ講演】

外国人が熱狂する「クールなニッポン」のプロデュース術 —— 山田 拓 氏

早稲田大学スポーツ科学学術院教授・
(一社)日本スポーツツーリズム推進機構 会長
原田 宗彦 氏株式会社Voyagin 執行役員
宮崎 有生 氏株式会社美ら地球 代表取締役
山田 拓 氏

ワークショップ

「スポーツと文化を融合させた新たな観光プログラムを生み出すこと」を目指して、地元大学生参加のワークショップを開催いたします。
参加者の方々には、事前にテーマをお伝えし、当日はアイデアを持ち寄って、ご参加いただけます。

※別会場の会議棟3F大会議室にて実施します。一般の方のお申し込みはできませんが、聴講のみ可能です。聴講される場合は会場に直接お越しください。

主催



特別協力
協力
運営

金沢市、(一社)日本スポーツツーリズム推進機構
北陸経済連合会北陸観光サロン、金沢商工会議所、
金沢経済同友会、石川県経営者協会
(株)ADKマーケティング・ソリューションズ

今年は石川県
金沢市で開催！

同時
開催

第8回スポーツツーリズム・コンベンション

主催 金沢市、(一社)日本スポーツツーリズム推進機構

●日時:2020年1月16日(木)9:30～17:00(予定)
●会場:金沢市文化ホール

※詳細は、金沢文化スポーツコミッション
WEBサイトをご確認ください。



■ プログラム

※11時～:「スポーツ文化ツーリズム」パネル展示コーナー開場(会議棟1F:展示ギャラリー)
金沢市主催の「歓迎茶会」を開催! 席主:奈良宗久氏、裏千家今日庵業舩(会議棟 1F:茶室にて、入場無料)
※12時～:大ホール開場

13:00	オープニング 主催者代表挨拶・開催地代表挨拶 ・ 鈴木 大地 スポーツ庁長官 ・ 山野 之義 金沢市長	
13:20	[基調講演] スポーツ文化ツーリズムの今と未来	・ 原田 宗彦 氏 早稲田大学スポーツ科学学術院教授・ 一般社団法人 日本スポーツツーリズム推進機構 会長
13:40	3庁長官トークセッション	・ 鈴木 大地 スポーツ庁長官 ・ 宮田 亮平 文化庁長官 ・ 田端 浩 観光庁長官 ※コーディネーター 原田 宗彦氏
14:30	休憩(コーヒーブレイク)	
14:45	スポーツ文化ツーリズムアワード2019表彰式	プレゼンター ・ 鈴木 大地 スポーツ庁長官 ・ 宮田 亮平 文化庁長官 ・ 田端 浩 観光庁長官 ・ 各受賞団体代表者
	スポーツ文化ツーリズムアワード2019 受賞団体プレゼンテーション	・ 各受賞団体代表者による、取組内容のプレゼンテーション
15:35	休憩(コーヒーブレイク)	
15:50	[テーマ講演] スポーツ×文化コンテンツを使った、インバウンド誘客のポイント ・ 宮崎 有生 氏 株式会社Voyagin 執行役員	[ワークショップ] (会場:会議棟 3F大会議室。時間:15:50～17:50) 「スポーツと文化を融合させた新たな観光プログラムを生み出すこと」を目指して、ワークショップを実施します。 ・ 山下 真輝 氏 株式会社JTB総合研究所 主席研究員
16:40	[テーマ講演] 外国人が熱狂する「クールなニッポン」のプロデュース術 ・ 山田 拓 氏 株式会社美ら地球 代表取締役	
17:30	終了	

■ 登壇者プロフィール

[基調講演]

3庁連携による、新しいスポーツツーリズムの未来

原田 宗彦 氏 / 早稲田大学スポーツ科学学術院教授・
(一社)日本スポーツツーリズム推進機構 会長

1954年大阪生まれ。ペンシルバニア州立大学健康・体育・レクリエーション学部博士課程修了(Ph.D.)。鹿屋体育大学助手、フルブライト上級研究員(テキサスA&M大学)、大阪体育大学大学院教授などを経て、2005年から早稲田大学スポーツ科学学術院教授。主な著書に、『スポーツイベントの経済学』(平凡社新書、2002)、『スポーツマーケティング』(大修館書店、2008年)、『スポーツ・ヘルスツーリズム』(大修館書店、2009年)、『スポーツ産業論第6版』(杏林書院、2015年)、『スポーツ都市戦略』(2016年度不動産協会賞受賞)など。
(一社)日本スポーツツーリズム推進機構会長、日本スポーツマネジメント学会会長、Jリーグ理事を務める。2008年大阪五輪招致では招致委員会参与。2016年東京五輪招致ではJOCオリンピック招致推進プロジェクトに所属する。現在は、観光庁「スノーリゾート地域の活性化推進会議」議長、スポーツ庁「スポーツツーリズム需要拡大のための官民連携協議会」座長を務める。

[テーマ講演]

スポーツ×文化コンテンツを使った、
インバウンド誘客のポイント

宮崎 有生 氏 / 株式会社Voyagin 執行役員

東京都出身。慶應義塾大学卒。リーマン・ブラザーズ証券株式会社を経て、株式会社リヴァンプで経営・業務改革事業、投資先事業会社の経営に関与。2016年に訪日観光客向けの体験予約サイトを運営する株式会社Voyaginに入社。事業開発部長を経て、2019年から執行役員として営業・新規事業・パートナーシップ統括責任者として従事中。中央省庁・都道府県・市区町村をはじめ、全国の自治体とのインバウンド案件の実績多数。スポーツ庁主催の武道ツーリズム研究会委員を兼務。ラグビーワールドカップ2019を契機として、神戸市・釜石市・豊岡市と包括連結協定を締結。旅のプロフェッショナル集団として、世界20ヶ国以上の海外スタッフと一緒に、日本全国の魅力を発信中。

[テーマ講演]

外国人が熱狂する「クールなニッポン」の
プロデュース術

山田 拓 氏 / 株式会社美ら地球 代表取締役

(株)美ら地球CEO、総務省地域力創造アドバイザー、内閣官房クールジャパン・地域プロデューサー。イナカを巡る外国人向けプラットフォームSATOYAMA EXPERIENCEを運営。外資系コンサルティング会社を退職し、足かけ2年にわたる世界のツーリズムを学ぶ旅を経て、飛騨古川に移住。里山や民家などの現存する地域資源を活かしたツーリズムを主とした数々の地域再生ソリューションをプロデュース。平成24年地域づくり総務大臣表彰にて個人表彰を受けるほか、環境大臣賞(「五感で感じるまち大賞」、平成23年)、グッドデザイン賞(平成25年)、エコツーリズム大賞優秀賞(平成26年)など、多方面からの評価を受ける。近年は、地方部各地でのツーリズム・ビジネスの立上げ支援や人材育成プロジェクトに従事する。著書に「外国人が熱狂するクールな田舎の作り方」(新潮新書)がある。



[ワークショップコーディネーター] 山下 真輝氏 / 株式会社JTB総合研究所 主席研究員 コンサルティング事業部 交流戦略部長

JTBグループが全社で推進する、観光を基軸とした地域活性化事業として立ち上げた「地域交流プロジェクト」を、JTBグループ本社で推進するべく、全社戦略の策定や人材育成に組織み、観光庁、経済産業省、文部科学省等の中央省庁における観光立国に関する様々な政策にも関わっている。また全国各地から、講演会やパネルディスカッションの出演依頼も多数あり、全国各地の観光地域づくりや、6次産業化に関するセミナーやシンポジウムにおける講演活動や、観光人材育成講座の講師や(一社)日本スポーツツーリズム推進機構におけるセミナー企画委員長など、観光分野の各種委員を多数務めている。内閣官房地域活性化伝道師として、全国各地の観光振興のアドバイスをを行っている。2018年4月より現職。

お申込み・お問合せ 「第4回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」運営事務局
お申込みURL: <http://sporttourism.or.jp/sport-culture-tourism.html>



※シンポジウムは、事前登録制となっております。お申込みサイトよりお申込みください。(入場料無料、申込み先着)



スポーツ文化ツーリズムアワード2019 受賞取組発表

2016年度から始まった「スポーツ文化ツーリズムアワード」。2019年度は、全国の応募の中から「スポーツ文化ツーリズム賞」「スポーツツーリズム賞」「文化ツーリズム賞」に選定された計6団体を表彰いたします。



【スポーツ文化ツーリズム賞】
日光国立公園マウンテンランニング大会
(日光トレイルランニング実行委員会)



【スポーツ文化ツーリズム賞】
剣道体験ツアー「SAMURAI TRIP」
(剣道体験ツアー「SAMURAI TRIP」
(運営:株式会社パークフォース))



【スポーツツーリズム賞】
魚沼国際雪合戦大会
(小出雪まつり実行委員会)



【スポーツツーリズム賞】
白山ジオトレイル
(白山ジオトレイル実行委員会)



【文化ツーリズム賞】
忍びの里「伊賀」ならではの忍びの
「心技体」を体験できる体験プログラムづくり
(「忍びの里 伊賀」創生プロジェクト会議)



【文化ツーリズム賞】
「めぐる、たべる、つかる」ONSEN・
ガストロノミーツーリズムで地域を元気に!
(一般社団法人ONSEN・
ガストロノミーツーリズム推進機構)

(1) 「スポーツ文化ツーリズムアワード」とは

スポーツ庁、文化庁、観光庁の三庁は、2016年3月に「スポーツ庁、文化庁及び観光庁の包括的連携協定」を締結し、スポーツや文化芸術資源の融合により、新たに生まれる地域の魅力を国内外に発信し、訪日観光客の増加や国内観光の活性化を図るための取り組みを推進するため、「スポーツ文化ツーリズムアワード」を2016年度から実施。

第4回となる「スポーツ文化ツーリズムアワード2019」では、スポーツ文化ツーリズムの推進に寄与する先進的な取組として「スポーツ文化ツーリズム賞」「スポーツツーリズム賞」「文化ツーリズム賞」を選定し、表彰。

(2) 今後のスケジュール

2020年1月15日(水)に開催予定の「スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」に合わせて「スポーツ文化ツーリズムアワード2019」表彰式を開催し、受賞団体に対して、三庁長官が表彰を行う予定。

(3) これまでの受賞団体・取組について

・第1回(2016)

○大賞：瀬戸内しまなみ海道振興協議会

「サイクリストの聖地「瀬戸内しまなみ海道」を核としたサイクルツーリズム」

○スポーツ庁長官賞：兵庫県姫路市「世界遺産姫路城マラソン」

○文化庁長官賞：青森県十和田市「スポーツ流鎬馬大会」

・第2回(2017) マイスター部門と、チャレンジ部門の2部門を新設

＜マイスター部門奨励賞＞

○びわ湖パノラマウオーク実行委員会

「おごと温泉を拠点とした世界文化遺産・日本遺産を繋ぐ「おごと温泉・びわ湖パノラマウオーク」」

○株式会社南都「沖縄に残された最後のフロンティア南の島の洞くつ探検」

＜チャレンジ部門入賞＞

○大阪城トライアスロン2017大会組織委員会

「大阪城トライアスロン2017／NTT ASTC トライアスロンアジアカップ」

○株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン

「日本初！雪上ゴルフ体験ウィンターゴルフ IN 北海道」

○香川県土庄町「小豆島一周サイクリング&無人島BBQ」

・第3回(2018) マイスター部門と、チャレンジ部門の2部門

＜マイスター部門入賞＞

○NPO法人 きらり水源村「カヤックで農業用水路を下る！「イデベンチャー」」

○一般社団法人 日本スポーツ雪かき連盟「国際スポーツ雪かき選手権」

○一般社団法人 ルーツ・スポーツ・ジャパン

「地域の魅力・文化を引き出しサイクルツーリズムで通年誘客を実現するツール・ド・ニッポン」

＜チャレンジ部門入賞＞

○株式会社 サムライプロデュース「十勝ナイトリバークルージング」

○一般社団法人 山形バリアフリー観光ツアーセンター

「世界一自由な空へつばさに乗って行こう 南陽は空もバリアフリー 空飛ぶ車椅子体験」